



# 12月新着本案内

愛知みずほ大学瑞穂高等学校  
瀬木学園図書館

## 「高校生のためのアドラー心理学入門」岸見一郎著 (140/キ)

自分らしく生きていくためにはどうすればいいの？自分や世界について新しい見方を学ぶための心理学入門書です。過去や他者に生きづらさの責任を求めず、勇気をもって人生を生き抜くための方法を具体的に教えてくれます。(アドラーとは…アルフレッド・アドラー(1870-1937)オーストリア出身の精神科医、心理学者。個人心理学を創始した人です。)



## ★世界史リブレット「人」シリーズが入りました！

「孔子」「古代ギリシアの思想家たち」「ガザリー」「安祿山」「イブン・ジュバイルとイブン・バトゥータ」「ハンムラビ王」「パーブル」「マンズール」「アレクサンドロス大王」「ウルバヌス2世と十字軍」「エリザベス女王」「カエサル」「カール大帝」「ド・ゴール」「ナポレオン」「ウィルソン」「ビスマルク」「ピリヤとサパタ」「ピョートル大帝」「マリア・テレジアとヨーゼフ2世」「ムハンマド・アリー」

それぞれの人物が、どんな時代に、どんな国で、どんなことをしたのかが、図や写真と共に解説されています。



## 「愛知「地理・地名・地図」の謎」大塚英二監修 (291.55/オ)

「中京」、東京と京都という都の真ん中に位置する愛知県は、尾張国と三河国からできている。名古屋人は「三河人は田舎者」と言い、三河人は「名古屋人と一緒にされたくない」と意地の張り合いをしているとか…。こんな愛知県の地理・地名・地図に隠された歴史のエピソードが紹介されています。



## 「それマナー違反ですよ!」岩下宣子監修 (385.9/イ)

あなたの何気ない立ち居振る舞いや、習慣になっているものの言い方が陰で笑われていますよ。こうした悪しき習慣は早く直すのがベスト!まずはマナー違反度チェックで自分の習慣を確認し、マナーのルールと思いやりの心を学びましょう。



## 「アマツさん、ネコが顔を洗うと雨が降るって本当ですか?」天達武史著 (451.28/ア)

天気予報を補足するために知っておくと得をする、生活に役立つ天気予報の豆知識や、天気予報がない時代から伝わることわざや、言い伝えなどを現代風にアレンジして、天気予報士のアマツさんが教えてくれます。「ネコが顔を洗うと雨が降る」その理由は本書で。



## 「5アンペア生活をやってみた」斎藤健一郎著 (590/サ)

電気に極力頼らない暮らしをしたい。東日本大震災をきっかけに節電生活を決意した記者が始めたのは「普通の生活はできなくなる」という5アンペア生活。エアコンや電子レンジはもう使えない。冷蔵庫やテレビは?身の回りにあふれる電化製品と決別して試行錯誤の末に辿りついた本当に豊かな生き方とは。



## ★もっともっとペットを愛したいあなたへ★

「犬語レッスン帖」井原亮監修 (645.6/イ)

「猫語レッスン帖」今泉忠明監修 (645.7/イ)

「ハム語レッスン帖」今泉忠明監修 (645.9/イ)

「インコ語レッスン帖」磯崎哲也監修 (646.8/イ)



## ★これに挑戦!★

「Arduinoでロボット工作をたのしもう!」鈴木美朗志著 (548.3/ス)

「色鉛筆の新しい技法書」河合ひとみ著 (725.5/カ)

「花の消しゴム印入門」深沢紅爐著 (739/フ)

「はじめてのねんどアクセサリ」アトリエ・ペルト著 (751.4/ア)

「ティーバッグの包み紙でゆかいな折り紙」山口真著 (754.9/ヤ)



## 「敬語で日記を書いてみよう:書いて覚える敬語練習帳」唐沢明著 (815.8/カ)



メール、手紙、伝言、会話などで使う敬語のフレーズが満載。苦手な敬語も「3行日記」を書くことで、身に付くようになる。書くことができれば、口に出すこともできる。日記を書くことで自分を省みて、日々出会う人々に感謝・尊敬する気持ちも芽生えるようになる。さあ、敬語力・日本語力・コミュニケーション能力をUPさせよう!

## 「役割語」小辞典」金水敏編 (813.9/キ)



「わしが知っておるんじゃ」「わたくしが存じておりますわ」「さよう、拙者が存じておる」というセリフを聞くと、どんな人物が話しているのかわかります。このように、特定のキャラクターと密接に結びついた言葉づかいを「役割語」と呼び、く老人語くお嬢様語く武士ことばなどと定義をした上で、役割語としての意味や成り立ちなどを辞書風に解説しています。なるほど!と、うなずくはずです。

## 「絵でよむ百人一首」渡部泰明著 (911.14/ワ)



『百人一首』は人生の教科書である」と語る著者。やさしく心に染み入る新訳と解説、絵と一緒に味わうことができるのがこの本です。文字だけでなくヴィジュアルからも、苦しさや満ちた現実や、美しく彩られた和歌の世界を感じてみませんか。

## 「アガサ・クリスティー賞殺人事件」三沢陽一著 (913.6/ミ)



作家志望の青年は、新人賞に落ち続けることに絶望し、人生最後の旅に赴く。古今の名探偵にちなんで名乗った偽名ゆえか、青年は行く先々で奇妙な事件に出会う。そして、旅が終わりを告げるかに思われた東京・信濃町のアガサ・クリスティー賞授賞式の会場でも悲劇は起きた!三沢陽一、有栖川有栖ら関係者が実名で登場する授賞パーティの最中に起きた殺人事件の真相とは?

## 「ペコロスの母の玉手箱」岡野雄一著 (916/オ)



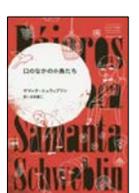
長崎を舞台に、認知症で施設に暮らす91歳の母の「今」と「昔」を、64歳の息子がどこまでも優しく切なく漫画で描いています。映画化にもなったベストセラー『ペコロスの母に会いに行く』の第2弾です。

## 「ムーミンキャラクター図鑑」シルケ・ハッポネン著 (949.83/ハ)



今年はムーミンの作者「トーベ・ヤンソン」生誕100年です。ムーミン谷の住人と、そこにやってくるたくさんの生きものたち、童話・絵本・コミックスに登場する全キャラクターの様々な登場シーンが紹介されています。

## 「口のなかの小鳥たち」サマンタ・シュウェブリン著 (963/シ)



『はじめて出逢う世界のおはなし』シリーズのアルゼンチン編で、15篇の幻想短編集です。アメリカやイギリス文学とは違った、異国情緒を味わうことができます。小鳥を食ったまま食べてしまう娘と二人の生活に戸惑う父親のお話など堪能してください。